



広島本通商店街

▲空港PRのティッシュを配る

マツダスタジアム



▲スタジアムの大画面にPRブースが放映される

福屋広島駅前店



▲プレゼントキャンペーンの応募を呼び掛ける



▲ミス岩国が空港・観光パンフレットを配布



▲スライリーとはあすちゃんのツーショット



▲豪華景品が当たるガラポン抽選



▲来場者に市の特産品をPRする福田市長

3月に新規就航した岩国錦帯橋空港の沖縄線を、広島市近郊の人にも利用してもらおうと、市は広島市でPR活動を行いました。

5月14日、広島本通商店街や福屋広島駅前店で、市職員が訪れた買い物客に空港PRのティッシュを配ったり、ブースを設置し、岩国・沖縄間往復ペアチケットのプレゼントキャンペーンを行ったりしました。

5月26日には、市や観光協会、商工会議所などからなる市町村

岩国錦帯橋空港・観光PR

PR隊がマツダ Zoom-Zoom スタジアム広島で、来場者に空港や観光パンフレットを封入した袋やうちわなどを配布しました。ほかにも観光PRとして福田良彦市長が来場者に対し、市の特産品「岩国寿司」や「岩国海軍飛行艇カレ」の購入を呼び掛け、ブースは多くの来場者でにぎわいました。

今回のPR活動を通し、今後の広島市近郊からの利用者増加が期待されます。

関観光振興課 ☎ 5116

広島からも便利 沖縄線就航PR

市政 PICK-UP



▲回答するとオリジナルタオルがもらえる 空港アンケートは来場者に大好評

教育現場でも活用を

5月20日、ナプテスコ株式会社から介助者用電動車いす「アシストホイール」2台が市に寄贈されました。

市役所で行われた寄贈式では、ナプテスコグループを代表して東洋自動機株式会社の原田和男取締役工場長が電動車いすを贈呈し、福田良彦市長が感謝状を手渡しました。

「アシストホイール」は介護者の負担を軽減するために芝生や砂利道でもスムーズに走行で



▲介助者用電動車いすの寄贈を行う原田取締役工場長（右）と福田市長

介助者用電動車いす寄贈式

きる機能や、介助者が手を離すと自動でブレーキがかかる安全機能が搭載されています。

同グループは社会貢献活動として平成20年から市に同種の車いすの寄贈を続けており、今回で8回目、累計16台になります。電動車いすは麻里布小学校と岩国中学校に設置し、障害理解教育や、学校内で体調不良になった児童・生徒のために使用する予定です。

図総務課 ☎295030



▲「地域の企業としてできる社会貢献」について話す寄贈式の出席者

環境問題 身近に感じて

6月4日、「環境から考える私たちの暮らし」をテーマに「岩国環境フェスタ2016」が市役所の多目的ホールやロビーで開催され、会場は子供から高齢者まで、たくさんの来場者でにぎわいました。

会場に設けられた15カ所のブースでは、エコカーや生きたオオサンショウウオの展示、手織り体験、高吸水性ポリマーを使った芳香剤作り、風呂敷の活用講座などが行われました。

ミクロ生物館のブースでは、



▲トレイに入れたチリメンジャコの中からチリメンモンスター（カタクチイワシ以外の生き物）を探す

岩国環境フェスタ 2016

参加者はチリメンジャコの中に混ざっているチリメンモンスター（小さなボラやカニなどの生き物たち）を探したり、ミクロ生物を顕微鏡で観察することで、海の豊かさや生物の多様性を学んでいました。

環境に関するクイズに答えて景品をゲットするブースでは、エコバッグやゴーヤーの苗などが配布され、来場者は環境やエコについて楽しく学びながら参加していました。

図環境保全課 ☎295100



▲家庭に水を届ける「耐震管」は地震に強いと言われるが、本当に抜けないのかを引っ張って確認できる